

平成27年度 第2回
地方独立行政法人西都児湯医療センター評価委員会

平成27年6月11日（木）午後7時から
西都市役所議会委員会室

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

（1）地方独立行政法人西都児湯医療センター中期計画（案）について

4 その他

5 閉会

平成 27 年 6 月 9 日

西都・東児湯管轄の救急車による救急患者の搬送件数から見た、

西都児湯医療センターの救急対応

医療法人財団西都児湯医療センター
理事長 長田 直人

はじめに

西都児湯医療圏内には、約 10 万人の住民が暮らしている。平成 22 年以降、西都市消防本部または東児湯消防本部の救急車で搬送された救急患者はそれぞれ年間 1,200 人以上、2,700 人以上であった。このうち、西都児湯医療圏内に約 6 割 5 分、医療圏外に約 3 割 5 分の患者が搬送されている。約 4 割以上の救急患者が医療圏外に搬送された年もある。

この医療圏内の一医療機関として、24 時間稼働の夜間急病センターを積極的に運営してきた西都医師会病院を引き継いだ西都児湯医療センター（以下 当センター）は、午後 7 時から午後 11 時までの夜間帯に限定した救急患者を受け入れ、かつ二次救急指定病院であるため、深夜帯から明け方の時間帯も、可能な限り救急患者に対応している。

今回、西都・東児湯消防本部管内における平成 24 年から 26 年の 3 年間の救急搬送データを基に、当センターが、西都児湯の救急医療にどの程度寄与できたかを検証し、問題点を洗い出したので報告する。

◆方法

- 1) 西都市消防本部の出動件数と搬送人数を、搬送理由である火災事故、自然災害、水難事故、交通事故、労働災害、運動競技、一般負傷、加害事故、自損事故、急病、転院搬送、医師搬送とその他の 13 項目に分けて各年度（1 月から 12 月）で調べ、月ごとの平均件数と人数も示した。（表 1 参照）

当センター、当センター以外の西都市内の医療機関、東児湯の医療機関と宮崎市内の医療機関へ搬送された人数を、13 項目に分けて各年度で調べた（表 2 参照）。

（注）一般負傷は、他に分類されない不慮の事故で、転院搬送は、何らかの理由により、医療機関から医療機関へ搬送されたものをいう。急病とは、疾病によるもので、救急業務として行ったものをいう。

- 2) 各年度で、上述した医療機関へ搬送された人数を 1 時間毎で調べ、0 時から 8 時まで、8 時から 17 時までと 17 時から 24 時までの 3 区分で比較した（表 3 参照）。さらに、宮崎市に搬送された人数に限定し、平日、土曜日、日曜日と土日を除いた祝祭日に分けて、搬送人数をそれぞれ一日平均に換算し比較した。
- 3) 急病に限定し、各医療機関に搬送された患者数を疾患別で調べた。疾病分類は、急病にかかるものについて、初診時における医師の診断（救急業務実施基準第 24 条第 2 項の医師の所見）に基づく傷病名を WHO で定

められる国際疾病分類（ICD10）の大分類により区分した。

- 4) 疾患別分類で、B病院に搬送された心疾患とC病院に搬送された消化器疾患について、重症度を調べた。重症とは傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。中等症とは傷病の程度が入院を必要とするもので重症にいたらないもの。軽症とは傷病の程度が入院を必要としないもの。死亡は、初診時において、死亡が確認されたものと定義された。（別資料参照）
- 5) 東児湯消防本部の出動件数と搬送人数を調べた。また、東児湯管轄内の医療区域別搬送人数と当センターに搬送された人数を年度毎に調べた。

◆結果

(1)13種類の搬送項目の調査

- ①救急車出動件数と搬送人数は、年平均 1,390 回と 1,289 人で、月平均は 115 回と 107 人であった。毎年、急病と転院搬送の合計が全体の 7 割を占めていた（表 1 参照）。
- ②当センターの 13 項目の年間受け入れ患者数は平成 24 年度で 373 人、平成 25 年度で 298 人、平成 26 年度で 383 人であった。西都市内のセンター以外の医療施設の受け入れ患者数は年平均 300 人であった。また、児湯郡を含む、西都市外で受け入れた患者数は各年度で 568 人、626 人と 608 人で、平成 24 年度は全体の 45%、平成 25 年度は 49%、平成 26 年度は 46% で、搬送患者が年平均 47% 流出していた。児湯郡を除外し宮崎市に流出した割合は、年平均 45% であった（表 2 参照）。
- ③交通事故と一般負傷のそれぞれの総搬送患者数のうち、交通事故の年平均 71% と一般負傷の年平均 67% は、西都市内の病院で受け入れていた。宮崎市で 13 種類の搬送項目の受け入れが多い病院は、B 病院、A 病院、C 病院の順で、毎年、それぞれ 90 人以上を受け入れていた。次に、E 病院が 50 人前後、D 病院は 40 人前後、ドクヘリ搬送は 17~19 人であった。このうち、転院搬送患者については、B 病院が毎年 60~80 人、A 病院と C 病院がそれぞれ 30 人前後を受け入れていた（表 2 参照）。
救急業務でないと思われた転院搬送を除外した、宮崎市へ流出した搬送人数は、3 年間で年平均 35% であった。

(2)深夜、日勤および準夜帯での搬送患者数の推移

- ①各医療施設に搬送された総人数に対して 8 時から 17 時までに搬送された人数の割合は、当センターで年平均 43%、西都市内で当センター以外の病院は年平均 66%、宮崎市は年平均 49% であった。当センターは夜間急病センターでの受け入れが多く、西都市内で当センター以外の病院は昼間の受け入れが多い傾向であった。宮崎市の病院が日勤帯で受け入れた 49% は、ほぼ 300 人に相当し、この中に、平均 210 人の転院搬送患者が含まれていると推定された。

また、宮崎市に収容された搬送患者数は、0時から8時までは年平均100人、17時から24時までは年平均200人であった（表3参照）。搬送された1日平均数は、平日、土日の間で、特に差はなかった。土日を除いた祝祭日では、各年度でばらつきが大きかった。

（3）急病に分類された患者の宮崎市への搬送数

- ① 急病患者の年間総数に対して宮崎市に流出した割合は、平成24年度は35%、平成25年度は42%、平成26年度は37%、平均38%であった。搬送人数が多い疾患順は、脳疾患、消化器疾患、心疾患そして呼吸器疾患であった。これらの4疾患で、毎年全体の65%を占めた。
脳疾患患者の53%に相当する95人前後は、当センターに搬送されていた。西都市内で当センター以外の病院に搬送された人数は、脳疾患患者の19%、宮崎市に搬送された人数は平均49人で26%であった（表4参照）。
- ② 消化器疾患患者を受け入れた割合は、当センターで平成24年度は10%、平成25年度は3%、平成26年度は16%。西都市内で当センター以外の病院では、29%、35%と20%。宮崎市に流出した割合は、59%、57%、63%であった。このなかで、C病院には、17人、26人と35人が搬送されていた（表4参照）。
- ③ 心疾患患者を受け入れた割合は、当センターで平成24年度は27%、平成25年度は13%、平成26年度は20%。西都市内で当センター以外の病院では、28%、26%と34%。宮崎市内に流出した割合は、44%、60%、44%であった。このなかで、B病院には、35人、54人と46人であった（表4参照）。

（4）宮崎市内に搬送された消化器疾患と心疾患の重症度

- ① C病院に搬送された消化器疾患患者の重症度評価については、平成24年度は軽症12%、中等症47%で重症35%。平成25年度は軽症31%、中等症65%で重症4%。平成26年度は軽症23%、中等症77%で重症6%であった。
- ② B病院に搬送された心疾患患者の重症度評価については、平成24年度は軽症14%、中等症66%で重症20%。平成25年度は軽症24%、中等症57%で重症19%。平成26年度は軽症39%、中等症37%で重症24%であった。

（5）東児湯から当センターへの搬送状況

東児湯の救急車の出動件数は、平均2,937回で、搬送人数は平均2,760人であった。西都市と同様に、毎年、急病と転院搬送の合計が全体の7割を占めていた（表5参照）。
東児湯の総搬送人数に対して宮崎市内に搬送された割合は、32%であった。東児湯から西都市に搬送された人数は、平成24年度394人で、そのうち、当センターに搬送された人数は365人、平成25年度は304人で、そのうち、当センターに搬送された人数は280人であった。西都市内に搬送された患者の92%が当センターに搬送された。

◆ 考察

当センターの当直可能な常勤医師数は、平成 24 年度が内科医 2 名と脳外科医 2 名、平成 25 年度は脳外科医 1 名のみ、平成 26 年度は脳外科医 1 名と内科医 1 名であった。今回の 3 年間のデータは、医師数が大きく影響したと思われる。平成 25 年度に当センターが受け入れた西都市内の 13 項目の救急患者数は、平成 24 年度と平成 26 年度にくらべて、約 80 人減少し、東児湯から受け入れた患者数も、約 80 人減少していた。内科医が全くいなかったことが原因であろう。

一方、脳疾患患者数は、3 年間で、ほとんど変わりなく、全脳疾患患者数の半数を受け入れた。このことは、脳外科医 1 名の努力によるものである。また、平成 26 年度に、内科医が 1 名増えたことで、救急車による受け入れ患者数が平成 24 年度の状態にほぼ回復したことは、背水の陣ともいえる 2 名の医師の頑張りを表している。とはいえ、西都市から宮崎市への救急患者の流出率は、転院搬送を除外した場合で平均 35%、急病に限定した場合で平均 38%であった。

宮崎市内に流出する救急患者の搬送の時間帯では、午前 8 時から午後 5 時までに、300 人が搬送されていた。このうち、転院搬送患者が 200 人程度いるため、差し引き、100 人余りが受け入れ必要な救急患者といえる。さらに、午後 5 時から午前 0 時までは 200 人、深夜帯の午前 0 時から午前 8 時までは 100 人が宮崎市内に搬送されていた。当センターは夜間急病センターとして午後 7 時から午後 11 時まで、救急患者に対応してきたが、内科対応は週 1～2 日である。今回のデータから、今後、平日に内科対応日を増やすことが近々の課題であり、日勤帯の救急患者にも対応しなければならない。これによって、さらに、200 人の救急患者を受け入れる可能性がある。

救急患者を疾患別で見た場合、宮崎市内には、消化器疾患と心疾患が多く搬送されていた。特に、心疾患は B 病院に、消化器疾患は C 病院であった。両疾患の患者の重症度は高く、臓器別診療が絶対必要な患者数は、概ね、消化器疾患で 5～10 名、心疾患で、10～15 名程度であろう。つまり、早急に開腹術または PCIⁱが必要な症例である。

当センターには、以前、循環器内科医がいたが、現在不在である。柔軟に心疾患患者に対応するためには、循環器内科医 1 名が必要で、かつ総合内科を担当できる医師 1 名、計 2 名の内科医を配置しなければならない。

当センターは、東児湯からも、毎年 300 人の救急患者を受け入れているが、脳疾患患者は約 47%を占める。

◆ 結語

西都児湯の救急医療にとって、当センターは脳疾患に対応できる唯一の医療機関であると確認できた。今後、循環器を標榜する医師と総合内科医師 2 名を常勤させ、夜間と昼間の時間帯で 200 人の救急患者を受け入れるよう努力する。

ⁱ PCI・・・心臓カテーテルの略 (Percutaneous Coronary Intervention)

表 1 . 平成24年度～平成26年度 西都消防管轄の救急車出動件数 (合計・月平均)

単位 : 人

年合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	転院搬送	医師搬送	その他	合計
平成24年度	1		4	93	9	20	198	7	24	770	244	2	10	1,382
平成25年度			2	101	10	20	162	5	13	852	205		8	1,378
平成26年度			1	108	6	23	194	7	19	804	239		10	1,411
月平均	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	転院搬送	医師搬送	その他	合計
平成24年度	0.1		0.3	7.8	0.8	1.7	16.5	0.6	2.0	64.2	20.3	0.2	0.8	115
平成25年度			0.2	8.4	0.8	1.7	13.5	0.4	1.1	71.0	17.1		0.7	115
平成26年度			0.1	9.0	0.5	1.9	16.2	0.6	1.6	67.0	19.9		0.8	118

(注) 年度 : 1月から12月実績

平成24年度～平成26年度 西都消防管轄の救急車搬送人数 (合計・月平均)

単位 : 人

年合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	転院搬送	医師搬送	その他	合計
平成24年度			4	85	9	18	174	3	13	707	244	2	4	1,263
平成25年度			1	95	9	18	151	5	9	784	205		1	1,278
平成26年度				121	6	22	179	4	12	742	238		3	1,327
月平均	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	転院搬送	医師搬送	その他	合計
平成24年度			0.3	7.1	0.8	1.5	14.5	0.3	1.1	58.9	20.3	0.2	0.3	105
平成25年度			0.1	7.9	0.8	1.5	12.6	0.4	0.8	65.3	17.1		0.1	107
平成26年度				10.1	0.5	1.8	14.9	0.3	1.0	61.8	19.8		0.3	111

(注) 年度 : 1月から12月実績

表 2 . 平成24年度～平成26年度 医療機関別搬送人数

平成24年度

単位：人

搬送先病院名		火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	転院搬送	医師搬送	その他	合計
西都	西都児湯医療センター			1	22	1	4	59	2	1	252	31			373
	その他(西都)	0	0	1	44	4	1	60	0	2	197	8	2	3	322
	西都 計	0	0	2	66	5	5	119	2	3	449	39	2	3	695
児湯郡 計		0	0	0	1	0	2	2	0	0	13	3	0	0	21
宮崎市	A病院				3	1	1	13		4	43	30			95
	B病院				1		3	8			35	80			127
	C病院							2		1	48	23		1	75
	その他(宮崎市)	0	0	2	14	3	7	30	1	5	119	69	0	0	250
	宮崎市 計	0	0	2	18	4	11	53	1	10	245	202	0	1	547
合計		0	0	4	85	9	18	174	3	13	707	244	2	4	1,263

(注) 年度：1月から12月実績

平成25年度

単位：人

搬送先病院名		火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	転院搬送	医師搬送	その他	合計
西都	西都児湯医療センター				32	2	4	46	1	4	194	15			298
	その他(西都)	0	0	0	39	2	5	44	1	1	253	8	0	1	354
	西都 計	0	0	0	71	4	9	90	2	5	447	23	0	1	652
児湯郡 計		0	0	0	3	0	3	6	1	0	9	7	0	0	29
宮崎市	A病院			1	8	1	1	18		2	58	35			124
	B病院				2			6			54	58			120
	C病院					1		3	1		80	30			115
	その他(宮崎市)	0	0	0	11	3	5	28	1	2	136	52	0	0	238
	宮崎市 計	0	0	1	21	5	6	55	2	4	328	175	0	0	597
合計		0	0	1	95	9	18	151	5	9	784	205	0	1	1,278

(注) 年度：1月から12月実績

平成26年度

単位：人

搬送先病院名		火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	転院搬送	医師搬送	その他	合計
西都	西都児湯医療センター				44	2	3	63	4	1	245	20		1	383
	その他(西都)	0	0	0	33	1	6	67	0	4	217	8	0	0	336
	西都 計	0	0	0	77	3	9	130	4	5	462	28	0	1	719
児湯郡 計		0	0	0	4	0	3	3	0	1	7	5	0	0	23
宮崎市	A病院				21		3	5		1	61	25		1	117
	B病院				1	1		5			46	68		1	122
	C病院				7			8		1	60	36			112
	その他(宮崎市)	0	0	0	11	2	7	28	0	4	106	76	0	0	234
	宮崎市 計	0	0	0	40	3	10	46	0	6	273	205	0	2	585
合計		0	0	0	121	6	22	179	4	12	742	238	0	3	1,327

(注) 年度：1月から12月実績

表 3 . 平成24年度～平成26年度 時間帯別搬送人数

		0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計	割合
平成24年度	西都児湯医療センター	63	168	142	373	29.5%
	西都市内	48	228	46	322	25.5%
	宮崎市（児湯郡含む）	104	295	169	568	45.0%
		0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計	割合
平成25年度	西都児湯医療センター	55	127	116	298	23.3%
	西都市内	51	249	54	354	27.7%
	宮崎市（児湯郡含む）	137	291	198	626	49.0%
		0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計	割合
平成26年度	西都児湯医療センター	71	166	146	383	28.9%
	西都市内	68	209	59	336	25.3%
	宮崎市（児湯郡含む）	106	303	199	608	45.8%

（注）年度：1月から12月実績

平成24年～平成26年 宮崎市への搬送時間帯別搬送人数

【平 日】	平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計	0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計	0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計
合計人数	68	184	99	351	79	182	122	383	64	194	109	367
1日平均人数	0.27	0.74	0.40	1.40	0.32	0.73	0.49	1.54	0.26	0.79	0.44	1.49
割合	19.4%	52.4%	28.2%	100.0%	20.6%	47.5%	31.9%	100.0%	17.4%	52.9%	29.7%	100.0%
【土 日】	平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計	0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計	0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計
合計人数	32	83	65	180	39	77	63	179	33	85	71	189
1日平均人数	0.32	0.82	0.64	1.78	0.38	0.75	0.62	1.75	0.32	0.83	0.69	1.83
割合	17.8%	46.1%	36.1%	100.0%	21.8%	43.0%	35.2%	100.0%	17.5%	45.0%	37.6%	100.0%
【祝 日】	平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計	0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計	0時～8時	8時～17時	17時～24時	合計
合計人数	2	13	1	16	15	13	7	35	6	13	10	29
1日平均人数	0.13	0.87	0.07	1.07	1.00	0.87	0.47	2.33	0.40	0.87	0.67	1.93
割合	12.5%	81.3%	6.3%	100.0%	42.9%	37.1%	20.0%	100.0%	20.7%	44.8%	34.5%	100.0%

表 4 . 平成24年度～平成26年度 急病に係る疾患別搬送人数

平成24年度

単位：人

		脳疾患	心疾患	呼吸器	消化器	感覚系	泌尿器	精神系	新生物	診断不明	その他	合計
西都	西都児湯医療センター	94	22	15	11	14	6	7	0	6	77	252
	その他(西都)	33	23	41	31	5	5	6	1	0	52	197
	西都 計	127	45	56	42	19	11	13	1	6	129	449
児湯郡 計		4	0	2	2	1	0	0	0	0	4	13
宮崎市	A病院	11	2	4	9		2	1	2	1	11	43
	B病院	1	25	2	4				1		2	35
	C病院	8	5	6	17	1	4				7	48
	その他(宮崎市)	29	4	17	33	3	8	0	0	2	23	119
	宮崎市 計	49	36	29	63	4	14	1	3	3	43	245
合計		180	81	87	107	24	25	14	4	9	176	707

(注) 年度：1月から12月実績

平成25年度

単位：人

		脳疾患	心疾患	呼吸器	消化器	感覚系	泌尿器	精神系	新生物	診断不明	その他	合計
西都	西都児湯医療センター	102	15	0	4	7	1	6	0	6	53	194
	その他(西都)	38	30	39	45	9	8	10	5	7	62	253
	西都 計	140	45	39	49	16	9	16	5	13	115	447
児湯郡 計		0	1	1	6	0	0	0	0	0	1	9
宮崎市	A病院	17	8	6	9	1	2	1	2	1	11	58
	B病院		41	1	8				1		3	54
	C病院	7	7	10	26		6		2	5	17	80
	その他(宮崎市)	30	14	25	29	3	5	4	2	2	22	136
	宮崎市 計	54	70	42	72	4	13	5	7	8	53	328
合計		194	116	82	127	20	22	21	12	21	169	784

(注) 年度：1月から12月実績

平成26年度

単位：人

		脳疾患	心疾患	呼吸器	消化器	感覚系	泌尿器	精神系	新生物	診断不明	その他	合計
西都	西都児湯医療センター	96	23	15	18	11	7	11	2	3	59	245
	その他(西都)	39	40	33	23	9	4	3	3	3	60	217
	西都 計	135	63	48	41	20	11	14	5	6	119	462
児湯郡 計		1	2	1	1	0	0	0	0	1	1	7
宮崎市	A病院	13	10	11	9		2	2		2	12	61
	B病院		32	1	9			1			3	46
	C病院	3	1	9	35	2	3			1	6	60
	その他(宮崎市)	28	9	17	18	0	1	9	2	0	22	106
	宮崎市 計	44	52	38	71	2	6	12	2	3	43	273
合計		180	117	87	113	22	17	26	7	10	163	742

(注) 年度：1月から12月実績

表 5 . 平成24年度～平成26年度 東児湯管轄救急車出動件数 (合計 ・ 月平均)

単位:人

合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他	合計
平成24年度	3		6	269	26	23	376	14	24	1,763	366			18	2,888
平成25年度	4		4	252	21	31	429	13	37	1,776	329	0	0	9	2,905
平成26年度	1		1	232	27	34	457	15	46	1,824	373	2		6	3,018
月平均	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他	合計
平成24年度	0.25		0.50	22.42	2.17	1.92	31.33	1.17	2.00	146.92	30.50	0.00		1.50	240.67
平成25年度	0.33		0.33	21.00	1.75	2.58	35.75	1.08	3.08	148.00	27.42	0.00		0.75	242.08
平成26年度	0.08	0.00	0.08	19.33	2.25	2.83	38.08	1.25	3.83	152.00	31.08	0.17	0.00	0.50	251.50

(注) 年度 : 1月から12月実績

平成24年度～平成26年度 東児湯管轄救急車搬送件数 (合計 ・ 月平均)

単位:人

合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他	合計
平成24年度	3		5	288	26	22	353	11	21	1,626	365			9	2,729
平成25年度	4		2	267	21	31	397	9	29	1,637	328			4	2,729
平成26年度	2		1	232	27	33	430	13	30	1,678	372			3	2,821
月平均	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他	合計
平成24年度	0.25		0.42	24.00	2.17	1.83	29.42	0.92	1.75	135.50	30.42			0.75	227.42
平成25年度	0.33		0.17	22.25	1.75	2.58	33.08	0.75	2.42	136.42	27.33			0.33	227.42
平成26年度	0.17		0.08	19.33	2.25	2.75	35.83	1.08	2.50	139.83	31.00			0.25	235.08

(注) 年度 : 1月から12月実績

平成24年度～平成25年度 西都児湯管内救急搬送状況 (東児湯消防管轄救急車による)

単位:人

搬送先市町村名	平成24年度			平成25年度		
	昼間搬送件数 8:00～18:59	夜間搬送件数 19:00～7:59	合計	昼間搬送件数 8:00～18:59	夜間搬送件数 19:00～7:59	合計
西都児湯医療センター	218	147	365	177	103	280
西都市	22	7	29	19	5	24
西都 計	240	154	394	196	108	304
高鍋町	389	233	622	437	223	660
新富町	35	5	40	24	2	26
木城町	7	0	7	6	1	7
川南町	289	133	422	272	171	443
都農町	193	152	345	163	112	275
児湯郡 計	913	523	1,436	902	509	1,411
宮崎市	442	365	807	548	386	934
日向市	44	29	73	39	24	63
その他	15	4	19	8	9	17
合計	1,654	1,075	2,729	1,693	1,036	2,729

(注) 年度 : 1月から12月実績